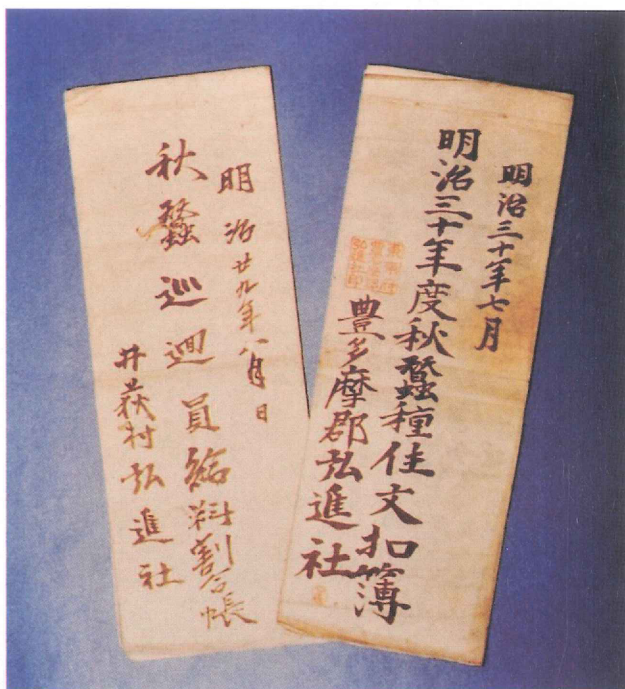


大沢家所藏文書



- 〔指定年月日〕昭和六三年三月三十一日
- 〔種別〕有形文化財（古文書）
- 〔名称〕大沢家所藏文書
- 〔点数〕九四点
- 〔所有者等〕個人
- 〔所在地等〕下井草四丁目

## 大沢家所蔵文書

本文書は、文化一三年（一八三〇）から明治四一年（一九〇八）までの間に作成、使用された願書・届書・記録等九四点で、そのうち神社・村政に係る六点を除く八八点は、大沢家の私文書である。

経営関係文書のうち半数近い一九点は、幕末から明治にかけての養蚕に関するもので、この地域における養蚕業の導入、経営を知る上で欠くことのできない資料である。ことに明治中期の史料は、当主初蔵が設立した養蚕の指導的結社「弘進社」に関するもので、その成立、活動状況を知る貴重なものである。

明治五年（一八七二）から四〇年にかけての薪山に関する史料は、入札関係を主とするが、近世から近代にかけて武蔵野地方の主要産業であった薪炭生産を明らかにするものとして、産業史料としての役割も大きい。

また祝儀・不祝儀に関する文書は、大沢家文書のほぼ半ばを占め、近世後期から明治末年にわたる同家の交際関係を明らかにするとともに、武蔵野地方の祝儀・不祝儀の形態を知る社会史史料である。

### 【文化財所在地】

